



Connect Eight

コネクト・エイト / 零×凛月 R 1 8

我ら朔間一族は
由緒正しき
吸血鬼である

眩しい陽射し
耐え難い眠気

数えきれない
エトセトラ

人間を真似て
生活するには
いくつもあって

それでも人類に
恋してしまっただ
ものだから日々を
生きている

一番の
厄介事は

…いつまで
そうしてる
つもりなの？

今更…
いつもだけど

そんなに
躊躇うこと
かなあ？

は
〜
…

…極論じゃな

いい加減
慣れれば…
それとも
野垂れ死ぬ？

味がどうとか
言うけどさあ
仕方のない
ことですよ

食事

概ね 吸血鬼も
食物から栄養を
摂取するだけで
足りるのだから

それでも
俺たちは
定期的には
飲まなくて
死んでしま
うは

…説得力
ないのう

俺はいいの
いつも
つまみ食い
程度だし

ほかの人間を
てきとうに
襲うわけにも
いかないんだし
我慢してよねえ…

…あんたは
それが出来ない
んだから

むぎ
むぎ

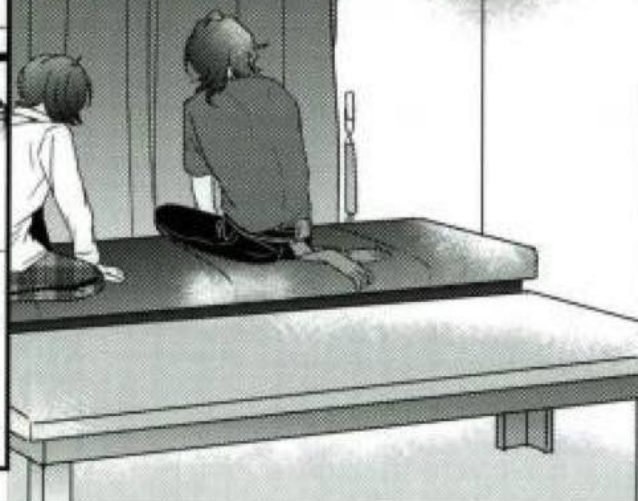
俺の気分が
変わらない
うちに

ギッ

観念しなよ

…でわかって
うか
でしかつ
しよ
てるか

UNDEAD 棟
控室



はやく
して

吸わせて
あげる



仕方ない…

そういうもの
じゃろうか

あ

毎度この兄が
負担をかけて
すまぬ…凛月

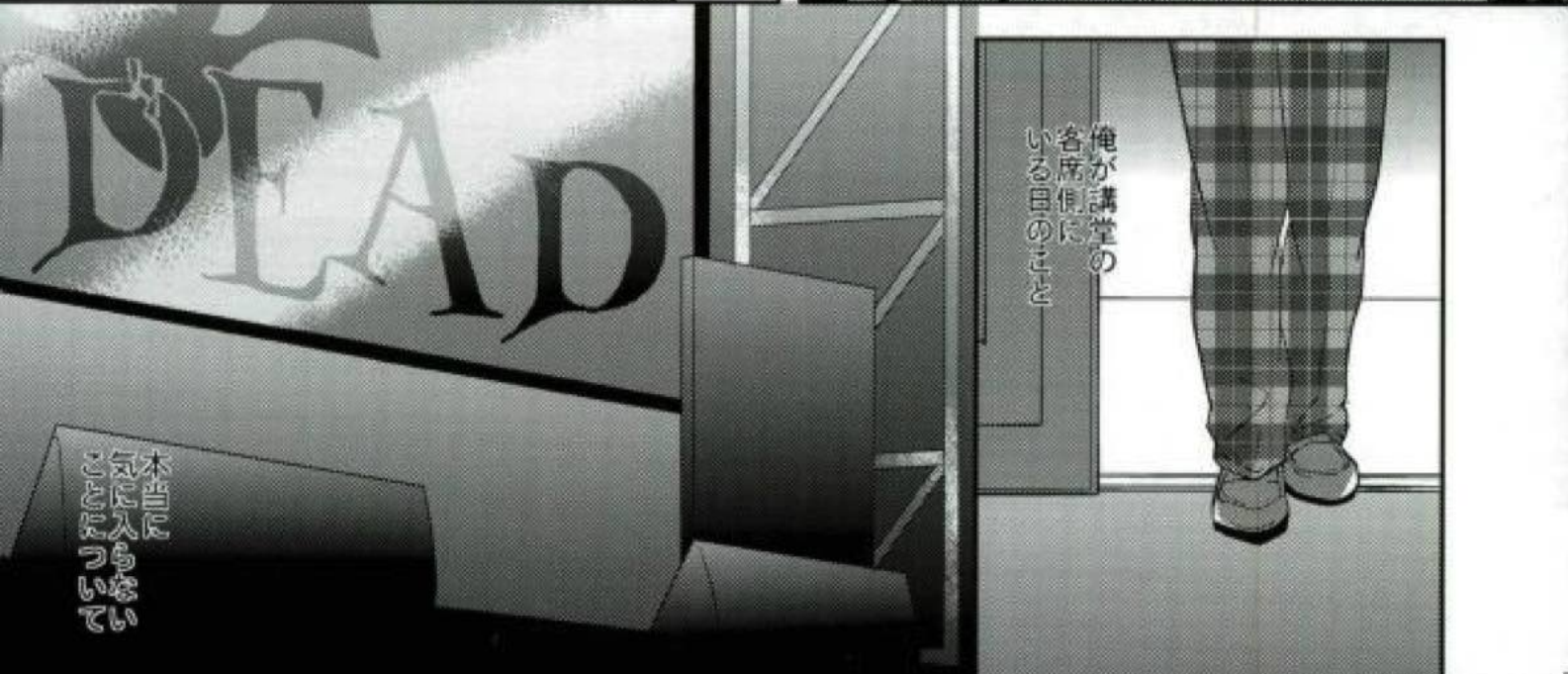
……

いましばらく

我慢して
おくれよ…

…ほんとうに

兄者はなにも
わかってない





こうして
見てると
嫌なこと
ばつかり
思い出す…



名前のない
不特定多数へ
投げかける声

「兄」ではない
アイドルの顔

……

…ほらね
やつぱり



無茶苦茶だって
わかってるけど



革命なんか
あてられて

時々
まるで

生き急ぐみたい
にスモットライトを
浴びていること



俺に
気付かない



つまり見えない
距離じゃなくて…
…それに普段は
鬱陶しいほど
目ざといくせに

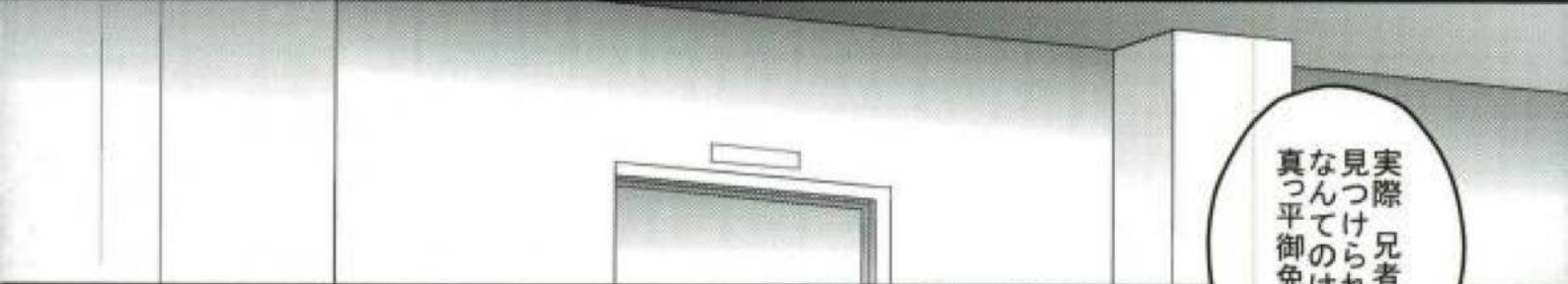
「視界に
入ってない」
…みたくない



コーギー
はさあ

あーっ！
…ごうっ
権をすま

たまるに
気付いたり
するんだ
だよなえ



実際 兄者に
見つけられる
なんてのは
真つ平御免だし



なら
「俺のもの」
って？

…瀬月？



アイドルの
期間客

自分でも何に
苛立ってるんだか
つて思うけど

ムカつく
ものは
ムカつく…



俺を
見ていない

俺のもの
じゃない

見慣れない
あのひとの姿が
何故だかひとく
気に入らない



何故
此処に
おる？

おなじポーズ……

兄者……

どうした
のじゃ

我輩に……
誰かに用事
かの？

「何故」……

ぱっ

ム……

……



残念じゃけど
わんこやらは
先に帰して
しまっておるよ

我輩は諸々の
手続きやら
片付けをして
おつての

なにか火急の
ことならば
連絡を……

いい

兄者から
用だから

へっ？

めずらしい……



……控室って
まだ使える？

う……うむ
今日は終日で
取っておるよ

しかし濃月や
いつたい……

……



きょう

満月の日
なんだけど



……ああ……
そうじゃった
なるほどのう……

困るのは
兄者だけど



忘れてた？



感謝して
よねえ……

……



これは
約束した
ことだから



……あんた
帰ってくるか
わかんないし



失念して
おったよ

その為に
態々会いに
来てくれたの
かえ？

はあ

いゆる

あ

すず

俺たちには

俺たちの
なかでしか
解決できな
い問題があ
って

はー…

はー…

……凛月

凛月

すまぬ……

…あーあ

辛そうな顔
するよねえ…

凛月

動けそう
かの…

どんなに
視野を世界を
広げてても

からだの内側
の面積は
変わらない
ものだし

んっ…

びくんっ



あ……あ

別に 俺は…
「必要なこと」に
謝ったりとかし
ないでいいし

は……

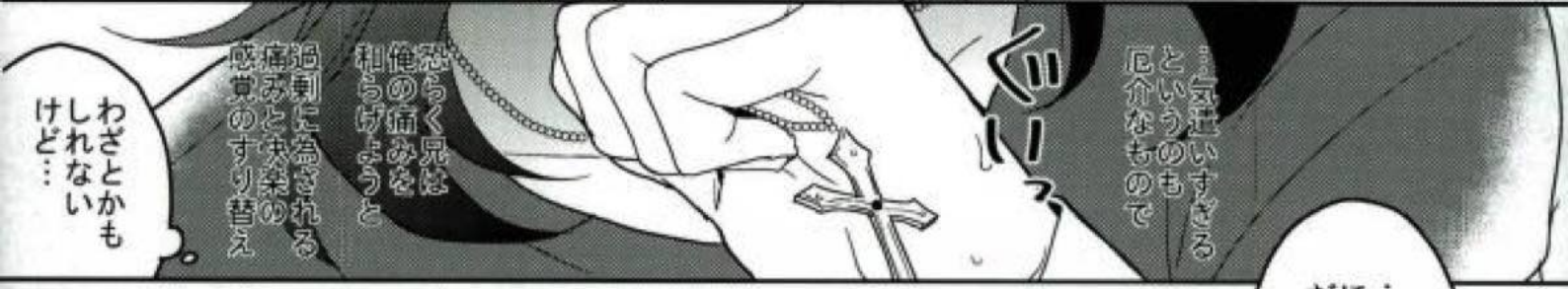
それよりさ…
わかる？



……

俺は
それがいい
のになあ……

唯一とかの
そういうの



……ほいすま
というのも
厄介なもので

恐らく兄は
俺の痛みを
和らげようと

過剰に愛される
痛みと喪失の
感覚のすり替え

わざとかも
しれない
けど……



……望む通りに

兄者……



……抜いて
ほしいん
だけど



…凛月

力を抜いて
おくれ…
すぐに済む

…っ
うあ…

びくっ



いちゃ

んっ

兄者…っ

だんっ…あう
だめ…っ

あっ
っ

…っ



はっ

はっ

いっ

あ
ん

.....

……もー満足？



今日に限らず
兄のステージに
幾度か足を運んで
くれておるじやろ

それがここまで
赴くとは……
今回はなにか特別
出来ないことでも
あったのじやろうか
と思つての？

控室の前で
姿を見かけて
我輩ちよつと
どきつとし……

ぼ……

た……

……

ふき
ふる

……
……
……
……

ズル……

……





あ

ゆっくりと
暴かれる

だと言うのに
おぬしが此処に
姿を見せた意図は
何かと思つてのう？

月の満ち欠けの
読み違えなど
これまで一度も
したことはない
凛月のことじゃ

…故に
もしわざと
であれば…
…まあ想像の
範囲を出ぬが

…聞いて
おくれ

凛月の姿が
客席に在ると
心がなにより
引き締まるのじや

だからこそ
気にしていない
ふりなどして…
最高の振る舞いを
見せなくてはと

そうやって
アイドルの身を
奮わせるのも

吸血鬼として
からだを支える
血の在り処も

触れて
ほしいのに

ほしくいて
ほしくない

お前しか
おらぬよ

凛月

俺の不満と
欲求のすべてを
的確に





…それ俺に
言わせる？

サ…



…いや

都合よく
解釈させて
もらおう

聞きおぼた
のう…



おぬしの選択を
ほんに嬉しく
思うしのう

凜月…

ん…

サ…



やはり
まだ

血のおいが
残っておるな...

血...

ね...兄者...



兄者いつも
いやがって
躊躇うし

吸ってからも
しんどそうな
顔してるし...



あのさあ...

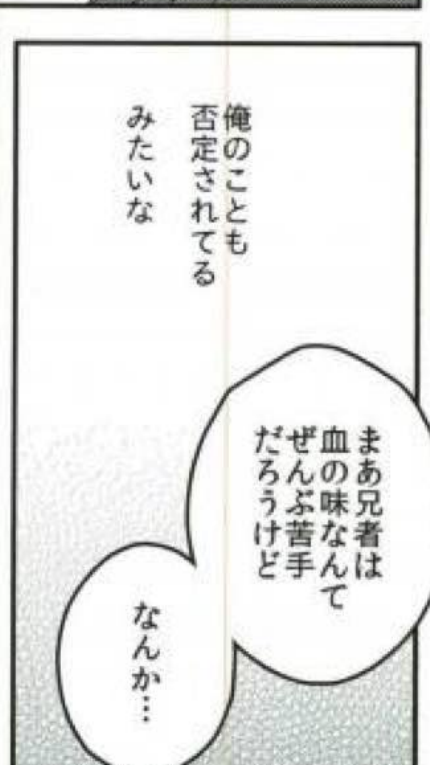
...やつぱり
俺の血も
まずいの?

んむ?



...うむ...
味というか...

吸血に対しては
思うところは
多々あるがのう



俺のことも
否定されてる
みたいな

まあ兄者は
血の味なんて
ぜんぶ苦手
だろうけど

なんか...

もっと
てらいたく
単純に求め
ほしいの

なにより
凜月……

不可欠なもの
ではあるが……
我輩の所為で
フェアではない
行為じゃからの

兄の身として
どうしても
罪悪感が拭えぬ
ものじやて
……許しておくれ

「フェア」とか
「所為」とか
……ねえ

お前にばかり
負担をかける
じやろう

セックスは
するくせに

……って言うのは
墓穴かなあ……

弟が本当に
嫌がる事は
ない男は
←

?

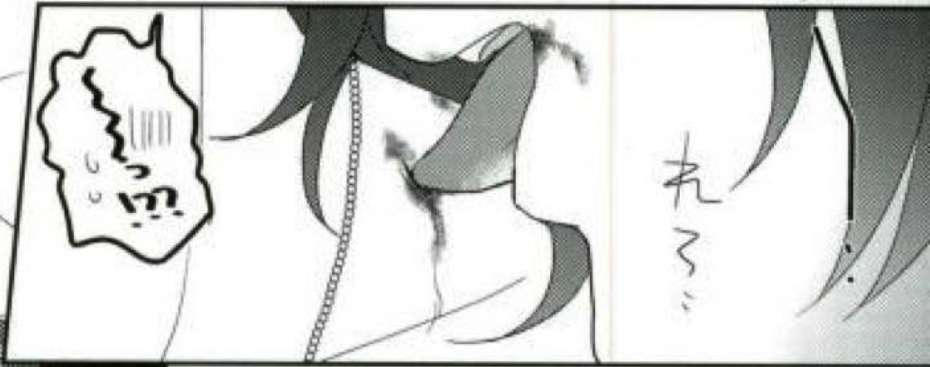
カバ
ぶっ
っ

……
それならフェア
だったらいいの？

がっ……!?

凜月？
なに？

むっ？



俺がほしい
言葉ってそれ
なんだけど

だって
俺たち

二人っきりの
吸血鬼
なんだから





んっ…ほら…
もう兄者も
限界っばいし…？

ミ
ニ
ニ
ニ

っ凧月…

…おいたは
う
感心せん
のう

はー…

だっさあ
フエアじゃ
ないでしょ？

…しかしまあ…
一理あるかの

拗ねて
おるな…

ズ
ン
…

…凧月や
つけて
くれるか

しよーがない
なあ…？

あー…
がちがち
じゃん…

ン
ン
…

グ
グ
…



あ...っ

ビュッ

すくすくすく...

凛月...

あ...っ

んっ...血の影響もあるじやろうがあれだけ熱烈に言われればのう...



きよ 兄じやっ...
いつもより...っ

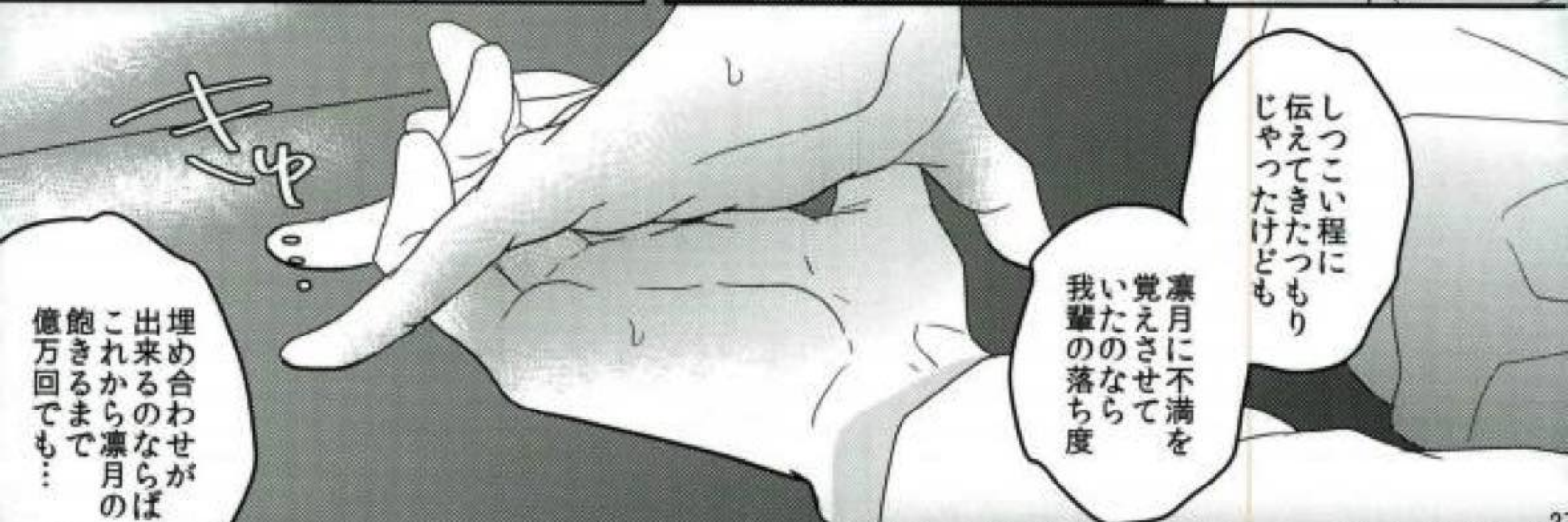


...っ
なんかっ

しつこい程に伝えてきたつもりじゃったけども

凛月に不満を覚えさせていたのなら我輩の落ち度

埋め合わせが出来るのならこれから凛月の飽きるまで億万回でも...





おまえの
内側にある
そのすべて

お兄ちゃんに
おくれ



さっ
さっ

お前の血も
なにもかも

ひとつでも
この身から
欠くことなど
考えられぬ

凜月…

誰より
愛しておるよ



よいな
凜月



あ
あ

あ
あ

すい
かお…



あ
あ

…あ



そう

そういうこと
なんだよ

俺は
それだけが
ほしくて
苛立って
たんだ



だからねえ



俺にもぜんぶ
ちよーだいね…

それで
最後には
ちいさい
吸血鬼の世界を
選んでもいいって

言わせてよ



すまんのう
凜月や……



じこけんおー



だーかーらー

いつまで
ぐずぐず
してるの……

だって……

だって……
じゃないし
気にしすぎも
うざいんだけど

はじ……



傷だって
もうぜんぶ
治ってるし

あとは
いつもの事
だし……？



……それでも
凜月に負担を
強いたことに
違いはなかる……

またその話
ループする
わけ？
……というか

……

悪い悪いと
言うわりには
あの準備のよさは
なんなんだろう……



凜月？
怒ってるおる？



……
しかしまあ

……これと言うと
また凜月には
怒られそうなの
気がするが……

満月の食事の度に
狭い世界の心地よさ
のようなものを
感じる己も居る

無体を働く事を
悔いておるのに

その正しさを
押し量るには
我輩も未だ若い……

にぶい
なあ……

凜月？

はあ……
なんでも
ないけど……

兄者やっぱり
わかつてない
よねえ……

んん？

フタスタ

……
……
……



だって

普段あんなに
キレイにすましてるのに
そんな顔しちゃってさ

スッ

笑えて
きちやうでしょ？



…それは

今日はやけに
煽るのう…



お主も同じ
なんじやがのう？

なんっ

はあ…ん

まっ…

…んう





随分と厭らしい子じゃのう…？



ほ…っ



俺をこんなにしたの誰だろう、

ね？
お兄ちゃん♡

きゅん



はぁー♡

とびやう

あ…♡

ぎゅん

うあ…

はぁっ

ぎゅん

……
キスだけで達してしまうとは

しゅん…

ぴん

びん

Ensemble Stars! unofficial fanbook#02
2016/02/07 By CHAKA

